



あらゆる福島の内側へー

福島映像祭 2019

会場：ポレポレ東中野／Space&Cafeポレポレ坐 主催：OurPlanet-TV 共催：ポレポレ東中野

2019年9月21日(土) ▶ 9月27日(金)



<http://fukushimavoice.net/fes/fes2019>

福島映像祭は、福島や3.11にまつわる、あらゆる映像を集めて上映する映像祭です。
映画、テレビ番組、そして一般市民による日々の記録まで、
震災・原発事故の記録を継承し、福島の今を映し出すことを狙いとして2013年から毎年開催しています。

上映作品 会場：ポレポレ東中野



失われた春 (2019年/129分/日本/Blu-ray)

監督: 田嶋雅己

福島第一原発による放射能汚染は、阿武隈地方の原木シイタケ農家と、農家に原木を供給してきた林業家にも壊滅的な被害を与えてきた。他の農産物は徐々に回復してきたものの、原木シイタケは放射性セシウムの移行係数の高さゆえに被害は未だに続いている。写真家・田嶋雅己による県内各地の農家や林業家、阿武隈の里山の継続的な記録。

■上映日=9/21(土)15:30[地下]★、9/26(木)15:30[地下]

星に語りて～Starry Sky～ (2019年/115分/日本/DCP・Blu-ray)

※バリアフリー版(日本語字幕・音声ガイド付き)上映

監督: 松本勲/企画: 藤井克徳/脚本: 山本おさむ/音楽: 小林洋平/製作: きょうされん

出演: 要田禎子、蜷雪次朗、今谷フトシ、植木紀彦、枝光利雄、菅井玲、生島ヒロシ、赤塚真人

東日本大震災の直後、全国障害者ネットワークでは、日本各地のグループで連携して被災地の支援活動を始めようとしていた。その矢先「障害者が消えた」という情報を聞く。陸前高田、南相馬など、被災地での実話をもとに、その知られざる実情をフィクションとして描いた物語。

■上映日=9/24(火)18:30[1F]★、9/25(水)15:30[地下]★



日本一大きなやかんの話 (2019年/50分*予定/日本/Blu-ray)

脚本・編集: 矢座孟之進/撮影: 矢座孟之進、土屋駿、羽仁高凜、大野右京、磯田武賢、古家正暢

アニメーション: 矢座孟之進、原田翼/イラスト: 董淑萌

音楽: 山本朋義/出演・ナレーション: 矢座孟之進、土屋駿、羽仁高凜

「ドキュメンタリー作品による原子力発電に対する意識改革」というテーマを基に高校生が作り上げた中編。アメリカの学者、鎌倉の地域発電、東京電力の立地地域部、フランス大使館の原子力参事官など、多種多様な人々に話を聞きに行くことで、福島の原発事故とは何だったのか、原子力発電の議論になぜ乖離が生まれるのかを考えていく力作。

■上映日=9/23(月・祝)15:30[地下]★、9/26(木)18:30[1F]★

ニッポニアニッポン フクシマ狂詩曲 (2019年/113分/日本/DCP・Blu-ray)

監督・脚本: 才谷遼/撮影: 高橋義仁/美術・装飾: 早坂英明/音楽: 江口貴勲

アニメーション: 眞賀里文字、伊藤有彦、小林準治、古川タク、ユリー・ノルシュテイン

出演: 隆大介、寺田農、デコウト・ミリ、廣徳優菜、外波山文明、山谷初男、宝田明

原発最前線の町・フクシマ県楢橋町の役場に出向を命じられた楠毅平は、上司となる役場の助役・村井に連れられ、津波で押し流された地区や、いまだ復旧しない鉄道、終わらない除染、セシウムが降り積もった帰宅困難地域など、各所を視察。フクシマの現状を目の当たりにする。葛飾北斎の犬が福島第一原発に巻き付くアニメーションは必見。

■上映日=9/25(水)18:30[1F]、9/27(金)15:30[地下]★



富岡 わが愛(仮題)未完成版上映(2019年/70分*予定/日本/Blu-ray)

監督・編集: 島田隆一/撮影: 林賢二/録音: 國友勇吾

出演: 磯野玲子、遠藤久仁子、小林留美子、坂本孝子、細山和子、三瓶容子、青木淑子

福島県富岡町から郡山市に避難した女性たちで結成した「富岡町3・11を語る会」は、語り部として県外から訪れた人に震災当時の経験を語る活動と共に、その活動をドキュメンタリーとして記録していた。その制作を指導していた映画監督の島田隆一による彼女らの活動とその失われた故郷を訪れる旅路を描いた近日完成予定の作品のプレビュー上映。

■上映日=9/22(日)15:30[地下]★



© 関西テレビ

マリアとフクシマ (2018年/60分/日本/Blu-ray)

製作:関西テレビ放送/ディレクター:宮田輝美/プロデューサー:萩原守

チェルノブイリ原発事故で胎内被曝したマリア・ディオディチュクさん。原因不明の体調不良が続いていたが、大人になってから甲状腺の病気だと判明し、24歳の時に摘出手術をした。絵を描くことが大好きで日本文化に憧れていたマリアさんが2016年に初めて日本を訪れ、福島を訪れてから、そこで出会った人々との交流を続けていく。1年半の記録。

フクシマの母〜母子避難8年・闘いの記録〜 (2019年/50分/日本/DVD)

製作:毎日放送/ディレクター:津村健夫/プロデューサー:奥田雅治

郡山市から大阪へ避難している森松明希子さんとその家族を6年間追ったドキュメント。郡山の病院で働く夫と離れ、息子と娘を連れて自主避難した森松さんの、夫と離れて暮らすこと、子どもが避難先で成長していくこと、東京電力の賠償、世間の目、事故の風化。作品は様々な葛藤を描いていく。

※「マリアとフクシマ」「フクシマの母」は二本立てでの上映となります

■上映日=9/24(火)15:30[地下]、9/27(金)18:30[1F]



© MBS

イベント 会場: Space&Cafe ポレポレ坐 *イベントはすべて18:00開場

9/21 (土)
18:30 - 20:30

市民部門上映&トーク
わたしが伝える福島

市民部門に寄せられたビデオの中から3作品を上映。それぞれの作品の制作者、関係者をゲストに作品に込めた想いを聞く。

- **ゲスト:** 城島めぐみ / 千葉偉才也 (リテラシー・ラボ) / 山田徹
- **進行:** 平野 隆章 (OurPlanet-TV)
- **コメンテーター:** 下村 健一 (白鷗大学客員教授/元TBS報道キャスター)

上映作品

「小さな種が繋ぐ物語ー原発事故から8年 とみ子さんの想いー」



■ **制作:** 城島めぐみ (2019年/8分)
飯館村から避難を余儀なくされた渡邊とみ子さんは、震災前に村の特産品として育てていた「いいいたて雪つ娘かぼちゃ」の種を守るため、避難先で栽培を再開した。かぼちゃの種を繋ぐ人々の輪が日本各地に広がっていく。2015年から現在までを記録。

「愛しのAiAi」 ■ **制作:** リテラシー・ラボ / 広野中学校の生徒たち (2018年/10分)



福島県広野町では誰もが知っている「アイアイ」。広野中学校の生徒たちが地元の人々にカメラを向け「アイアイ」の取材を開始。「アイアイ」の思い出、被災、そしてふるさとへの思いに耳を傾ける。

平成30年度広野町「いいいな広野わが町発見-ふるさと創造・映像教育プロジェクト」完成作品

「あいまいな喪失(仮)」フッテージ上映



■ **制作:** 山田 徹 (2019年/20分予定)
「新地町の漁師たち」の山田徹監督による最新作「あいまいな喪失(仮)」から一部を特別上映。浪江町で印刷業を営んでいた渡辺家が、家の解体をきっかけに、それぞれが抱える喪失感、葛藤、不満に向き合っていく。原発事故から8年、ある家族の物語。

お席に限りがございます。

イベントは事前予約をお願いいたします。

予約 03-3227-1445/polepoleza@co.email.ne.jp
(ポレポレ坐)

9/22 (日)
18:30 - 20:30

特別上映&トーク
福島中央テレビの現場から

福島県外では見ることのできない福島のローカルニュースを上映する毎年恒例企画。震災・原発事故から8年が経過した現在、地元テレビ局の報道はどう変化したのか、福島中央テレビの佐藤崇さんをゲストに、取材現場のリアルを聞く。

■ **ゲスト:** 佐藤 崇 (福島中央テレビ常務取締役報道担当)



1956年福島県相馬市生まれ。中学高校時代を双葉郡富岡町で過ごす。1980年福島中央テレビ入社、イマワシや尾瀬などの自然保護をテーマにした取材が多い。原発監視カメラの設置を提案し、茨城JCO事故の翌2000年に実現。2011年、福島第一原発事故の瞬間をとらえた唯一のカメラとなる。

■ **聞き手:** 小田桐 誠 (ジャーナリスト)

協力: メディア総合研究所

※ 無料上映(但しトーク料・資料代として参加料をいただきます)

9/23 (月・祝)
18:30 - 20:30

上映&トーク
双葉町のいま

福島第一原発の重大事故を受け、福島県の首長の中でただ一人、町民の県外避難を行なった双葉町の井戸川克隆前町長。住民が移住する「仮の町」構想を提唱し、避難指示解除や帰還を急ぐ近隣の市町村とは一線を画した。現在、被曝問題に正面から向き合いつつ、国と東電を訴えた裁判を闘っている。双葉町の最新映像を交えながら、事故当時を振り返るとともに、避難指示解除に急ぐ双葉郡の未来を考える。

■ **ゲスト:** 井戸川 克隆 (元双葉町長)



1946年福島県生まれ。福島県立小高工業高等学校卒。32歳の時、株式会社丸井を設立し代表取締役就任。2005年~2013年福島県双葉町長を務める。双葉地方町村会、双葉地方広域圏組合管理者など歴任。事故当時、双葉町から埼玉県の大須市へ、町民とともに避難し、現在も避難生活を続けている。2012年と2013年の2回にわたり、ジュネーブの国連人権理事会総会に赴き、原発事故後の福島の窮状を訴えた。

■ **聞き手:** 白石 草 (OurPlanet-TV)

タイムテーブル

	① 15:30~ 地下B2階[ポレポレ東中野]	② 18:30~ 1階 [ポレポレ坐]
9/21 (土)	映画 「失われた春」★	イベント 市民部門上映「わたしが伝える福島」
9/22 (日)	映画 「富岡わが愛(仮題)」★	イベント 特別上映&トーク「福島中央テレビの現場から」
9/23 (月・祝)	映画 「日本一大きなやかん」★	イベント 上映&トーク「双葉のいま」
9/24 (火)	映画 「マリアとフクシマ」+「フクシマの母」	映画 「星に語りて〜Starry Sky〜」★
9/25 (水)	映画 「星に語りて〜Starry Sky〜」★	映画 「ニッポニアニッポン フクシマ狂詩曲」
9/26 (木)	映画 「失われた春」	映画 「日本一大きなやかん」★
9/27 (金)	映画 「ニッポニアニッポン フクシマ狂詩曲」★	映画 「マリアとフクシマ」+「フクシマの母」

★=上映後、監督や関係者による舞台挨拶あり!

料金

《映画・イベント共通》三回券 3,600円 ■上映・イベントでご使用可 ■開催前から最終日まで販売

映 当 日：一般1,500円／シニア1,200円／大・専・障害者1,000円／高校生以下700円

■当日整理番号の受付が必要となります ■満席の際はお入り頂けない場合もございます
※ポレポレ坐での映画上映は、開場時間前までポレポレ東中野で整理番号の受付を行います。

イ 予 約・当 日：1,500円(三回券使用可)

予約 03-3227-1445 / polepoleza@co.email.ne.jp (ポレポレ坐)

■お席に限りがございますのでご予約をお願いいたします／三回券ご使用予定の方もご予約いただけます

会場

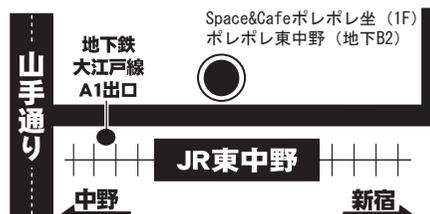
東京都中野区東中野 4-4-1ポレポレ坐ビル

映画上映：地下(映画館)

ポレポレ東中野 TEL 03-3371-0088
<http://www.mmjp.or.jp/pole2/>

映画上映・イベント：1F(カフェ)

Space&Cafe ポレポレ坐 TEL 03-3227-1445
<http://pole2za.com/>



JR東中野駅西口北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線A1出口より徒歩1分